

当院の催吐リスクに応じた制吐療法の基本薬剤

<高度催吐性リスク> 90%を超える患者に発現する

- ①アプレピタントCap 125mg (day1)、80mg (day2-3)
- ②パロノセトロン点滴静注0.75mg (day1)
- ③デキサート注6.6mg 1.5V (9.9mg) (day1)
- ④デカドロン錠4mg 2錠1× (day2-4)

<中等度催吐性リスク；標準> 30～90%の患者に発現する

- ①グラニセトロン静注液1mg (day1)
- ②デキサート注6.6mg 1V (day1)
- ③デカドロン錠4mg 2錠1× (day2-3)

<中等度催吐性リスク；特定薬剤> 30～90%の患者に発現する

※特定薬剤：カルボプラチン、イホスファミド、イリノテカン、メトトレキサート

- ①アプレピタントCap 125mg (day1)、80mg (day2-3)
- ②グラニセトロン静注液1mg (day1)
- ③デキサート注6.6mg 0.5V (3.3mg) (day1)

<軽度催吐性リスク> 10～30%の患者に発現する

- ①デキサート注6.6mg 1V (day1)

<最小度催吐性リスク> 発現しても10%未満である

※予防的な制吐療法は実施しない